

2017/03/31

2016-2017 シーズン技術部員レポート

神奈川スキー協

吉越 貴幸

シーズンインの腰痛症のため、神奈川所属指導員への伝達はほとんどできませんでしたので、一般教室の中での検証結果となります。

「前傾ポジションに戻れば板がそろう」という説明についてですが、「板をそろえやすくなる」が正しい表現なのかな、と感じました。特に子供たちはブルークスタンスのままで前傾のいいポジションまで行けてしまいます。初級レベルまでのスキーヤーにはきちんと落ち着いてから次のターン動作に入っていってほしいので、新構成図でいう「斜滑降ポジション」に進んでいく過程で、「前傾ポジションに戻りながら板を揃えてみよう」という説明をし、揃える操作を意識的にこなしてもらった方がいいのでは、と思いました。

「フラットポジション」で前傾(基本)ポジションに、というのを狙っての DVD での紹介かとは思いますが、ターンマキシマムからの「いなし」(※ブランコの励起運動につながる)が理解できるまでは、「斜滑降ポジション」で基本ポジションを作る、という道筋がスキーヤーには伝わりやすいと考えます。

的を外していたらすいません(笑)